



大友 又治 議員

■定住促進のために魅力ある住環境の整備を

町長

□地区の要望に、的確・計画的に対処していく

議員 道路整備、橋梁

長寿命化修繕計画、除雪体制の促進・強化を。

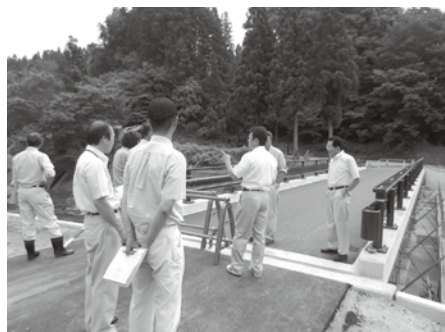
町長 町道は、今年度、5路線、延長630mの道路改良・舗装工事と道路維持や側溝整備を合せ、約1億5千万円の事業を計画し、早期着工に努めている。地区の要望に、的確・計画的に対処していく。橋梁長寿命化修繕計画は、橋の主要部分の主桁・床版・橋脚・橋台等にひび割れや剥離、腐食などの異常が見ら

れた場合、優先し改修を行う計画である。

除雪にあたっては、道路幅員や勾配、カーブ等の構造的な面、除雪を行う際の技術的な面、雪崩の危険性、現在通行している路線と比較した場合の時間的メリット性、交通量、必要となる経費等を慎重に調査する必要がある。

議員 水道未普及地域飲用水対策事業の早期完了を。

町長 水道水を供給していない長野、大石川、



冬期間の通行が可能となった上小又橋

長沢前、西郡、川舟沢、小又、塩根川の7地区においても安全な水が飲めるよう、水質検査費用や滅菌器の購入・設置費用相当額を補助

する。
25年度末現在、水質検査を実施した世帯は11件、このうち水質が飲用に不適であった世帯が3件あり、うち2件が滅菌器を設置し、残り1件は近所の井戸を借用することにした。残りの84世帯を対象に5月に行った意向調査を基に、再度、職員が対象世帯を全戸訪問し、事業を説明し進捗を図る。

議員 生活排水処理施設普及率の県下最下位脱出を。

町長 25年度実績は、合併処理浄化槽設置件数29件のうち17件が住環境快適サポート補助金事業を利用している。下水道加入や合併処理浄化槽設置を呼びかけ、第5次町総合計画前期計画に定めた平成27年末の生活排水処理施設普及率目標値57・2%を達成したい。

他の質問

●真室川町地域情報化計画の検証を

■町の未来に向けて古きを学び新しきを求める

- 町内企業等への駐車場除雪助成を
- 東町、緑町住宅建替計画の進捗状況は
- 及位古道を整備し町の財産にしては

町長

- 企業等支援制度としては相応しない
- 定住促進策を実施・検討する
- 専門家に意見を求め方向性を検討

議員 町内企業等に対し社員用駐車場の除雪支援として12月から3月まで雇用した社員の通勤車1台に5千円ぐ

らい助成し、企業等の冬季間リスクの軽減を図っては。
町長 恒常的な助成制度であり企業等支援制度としては相応しないものと考えている。25年12月現在、県内において企業支援制度として除雪費を助成している事例はない。

現時点で企業等に対する除雪費支援制度を創設する考えはない。

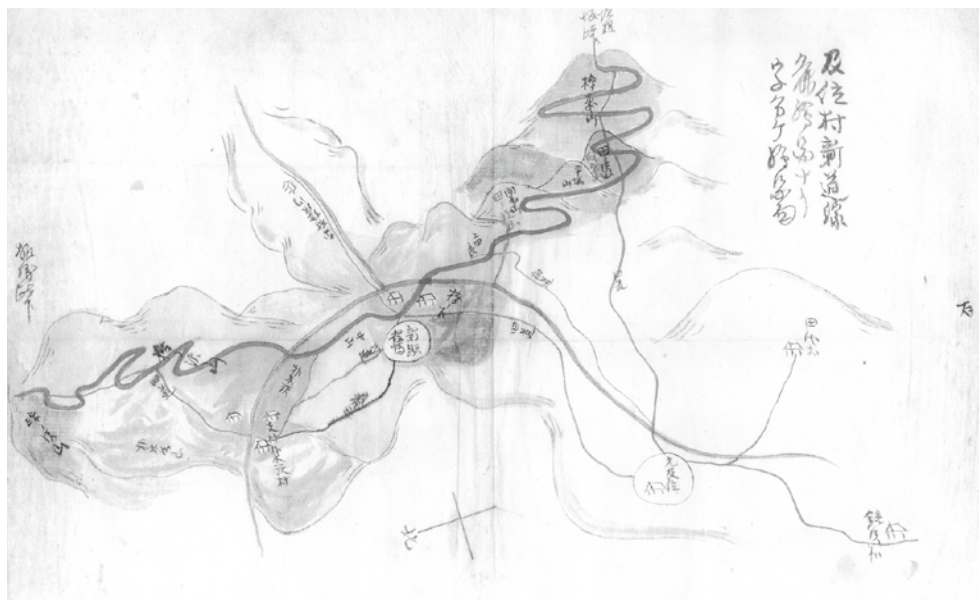
議員 3月議会で町長答弁を頂いた「老朽化が進んでいる東町、緑町住宅を10戸程度の町営住宅に建替する計画」の進捗状況は。

町長 国の住宅政策は、急速な少子高齢化の進

展や人口減少社会の到来を踏まえ、平成18年に住生活基本法が制定され、同年に住生活基本計画が策定された。この住生活基本計画とその他の施策を含めて定住促進策を実施・検討する。

議員 及位地区には江戸時代に参加交代で秋田や青森の大名が通つたとされる古道羽州街道がある。また、付近には戊辰戦争の痕跡も残っている。これらを整備し観光スポットとし町の活性化につなげては。

町長 町文化財保護委員又は外部専門家などの関係者に、資料的価値や評価、保存や保全の可能性の調査等についての意見を求めた上で、今後の方向性を検討したいと考える。



明治13年頃の及位地区の絵地図 資料：真室川町歴史民俗資料館